アクセシブルな街コインブラ[Coimbra]

について

アクセシブルな街コインブラ[Coimbra]

コインブラはモンデゴ[Mondego]川のほとりにあるとても古い街で、コインブラを訪れるということはちょっとした歴史の授業であるともいえます。この街の驚くほど豊富な歴史遺産を見ることで、何世紀もの時間を旅することができるためです。

しかし、この街が有名なのはその歴史ではありません。コインブラ大学はポルトガルで最古の大学であり、ヨーロッパにおいても最も古い大学の一つとして知られています。活気に満ちあふれた古くから続く教育の源泉であり、「学生の街」と言われています。

地図を見ながらお勧めルートを歩く

市内の最も標高の高い位置にある**大学**
は、その付近一帯がユネスコの世界遺産として登録されています。この場所がお勧めルートのスタート地点です。パティオ・ダス・エスコラス[Pátio das Escolas](中庭)周辺には密集した建物が広がっています。中庭は幅が広く、平坦で、障害物がないため車いすでの移動が可能です。現時点では、本館の**司祭館[Reitoria]**
(10)へ入館するには階段を上るため補助が必要ですが、館内に入ってしまえば中は広々としていて障害物もありません。絶対に見逃してはならないのが、**ジョアニナ図書館[Biblioteca Joanina]**
(11)です。ここは、スロープを利用して入館できます。中に入ると、30万冊以上の蔵書が納められた美しい金箔塗りの書棚を見ることができます。1階には障害となるものがほとんどないためこの光景を下から観賞することができますが、上の階へ行く手段は階段のみとなっています。

Coimbra - Universidade © ARPT Centro de Portugal

近くにはマニエリスム様式の建築物である、**新カテドラル[Sé Nova]**(13)があります。ニューカテドラルのドアの前には階段があり、車いすを利用している場合は補助がなければ中に入ることはできません。一方で、**国立マシャード・デ・カストロ博物館[Museu Nacional Machado de Castro]**(12)では、すべての人が見事な宝石や彫像、絵画を観賞できます。この博物館のメインとなる展示の一つである、ローマ時代の地下回廊はアクセシビリティ対応ではありませんが、マルチメディアブースに行けば中の様子を360°撮影した画像を見ることができます。

Coimbra - Sé Velha © ARPT Centro de Portugal

この区域の道は狭くなっており、中心部(バイシャ)に近づくにつれ急勾配になっていきます。このため散策が難しくなってしまい、また、**旧カテドラル[Sé Velha]**
(6)に行くにもこの道が難点となります。旧カテドラルはコインブラの主たるモニュメントの一つですが、階段があるため補助なしでは中に入ることができません。この階段は黒いマントを身に着けた学生たちがセレナードを歌うステージとなります。特に学年度の終わり頃になると、ここでコインブラ・ファド[fado]を歌います。この歌は必聴です。旧カテドラルはアクセシブルではありませんが、市内の様々なバーでもコインブラ ファドを楽しめます。

Coimbra - Baixa © ICVM

他のお勧めは、**マーケットリフト(エレベーター)[Elevador do mercado]** にのって街の中心部まで行くことです。マーケットリフトに乗れば新カテドラルに近いパドレ・アントニオ・ビエラ通り[Rua Padre António Viera]まで行くことができます。街のマーケットの隣で降りたら、選択肢は2つです。緑のある場所を散策したいのであれば、右へ曲がり、アベニダ サ ダ バンデイラ[Avenida Sá da Bandeira]を進みましょう。メイン通りにはガーデンが広がり、レパブリカ広場[Praça da República]まで続いています。そこでは**セレイア・ガーデン[Jardim da Sereia]**(15)を見ることができます。とてもさわやかな場所で、サンタ・クルス公園[Parque de Santa Cruz]まで
つながっています。公園にはスロープがあり、多少の障害物があります。もう一つの見逃せない緑豊かな場所は、**植物園[Jardim Botânico]**(16)です。ここはアクセシビリティに完全対応したエリアで、アルメイダ・ガレット通り[Rua Almeida Garrett]から行くことができます。また、その先にあるトマル通り[Rua de Tomar]からも行くことができます。

Coimbra - Igreja de Santa Cruz © ARPT Centro de Portugal

マーケットリフトを降車して、反対側(左)に向かえば、お店が多く、より活気のある街の中心エリアを見ることができます。オリンピオ ニコラウ ルイ フェルナンデス通り[Rua Olímpio Nicolau Rui Fernandes]を道なりにいくと、**ソフィア通り[Rua Sofia]**
(8)に突き当たります。ソフィア通り沿いにはコインブラ大学附属のカレッジが立ち並び、ここもまた、世界遺産に登録されています。左に曲がり、8 デ・マイオ広場[Praça 8 de Maio]へ向かうと、**サンタ・クルス教会[Igreja de Santa Cruz]**
(7)にたどり着きます。この教会の目の覚めるような美しさの戸口に思わず目を奪われてしまうでしょう。教会内は全てアクセシブルとな
っていま
す。ここには初代
のポルトガル王の墓があります。このお勧めルートはポルタジュン広場まで続きます。途中には**サンティアゴ教会[Igreja de São Tiago]**
(6)があります
。ゴシック建築のこの教会はアクセシブルになっておらず、入口には階段があり、お店やテラスが集まる**コメルシオ広場[Praça do Comércio]**(5)もあって移動の妨げとなっています。

Coimbra - Rio Mondego/Ponte de Santa Clara © ARPT Centro de Portugal

お勧めルートはモンデゴ川の反対側に続きます。サンタ・クララ橋[Ponte de Santa Clara]を渡ってください。数メートル行くと、左手に13世紀に建設された**旧サンタ・クララ修道院[Mosteiro de Santa Clara-a-Velha]**(2)が見えてきます。この建物は度重なる川の氾濫により深刻な被害を受けてきました。1階部分はアクセシビリティ対応です。水害の跡が残るエリアも残されており、独特の雰囲気が漂っています。このエリアには**リトルポルトガル[Portugal dos Pequenitos]**(1)というテーマパークもあります。広いスペースやガーデンの中に、ミニチュアサイズのポルトガルのモニュメントや伝統的な民家などのレプリカがたくさんあります。

Coimbra - Ponte Pedro e Inês/Parque Verde do Mondego © Visit Centro de Portugal

それからアベニダ・イネス・デ・カストロ[Avenida Inês de Castro] を通って川沿いを進み、ショーパリノ公園[Parque do Choupalinho]で、モンデゴ川横にある緑を楽しみましょう。革新的な構造設計の歩道橋である、**ペドロとイネス橋[Ponte Pedro e Inês]**(3)を通って川を渡ることができます。この橋は**モンデゴ グリーン パーク[Parque Verde do Mondego]**
(4)へつながっています。ここでお勧めルートは終わりです。モンデゴ川だけでなく、テラス、レジャーやスポーツアクティビティが楽しめる場所があり、本当に魅力あふれる場所となっています。加えて建築家シザ ヴィエイラ[Siza Vieira]
とソウト・デ・モウラ[Souto de Moura] による建築物であるセントラル・ポルトガル・パビリオン[Pavilhão Centro de Portugal]もあります。この施設では数多くの文化的イベントが開催されています。

お役立ち情報

交通

バス
市営バス会社 SMTUC [SMTUC](コインブラ市都市交通サービス)では、体の不自由な人が利用可能なアクセシビリティ対応車両を用意しています。乗降用の坂、ゆとりのある車内、体の不自由な人のための専用席、警報音や警報ライトが設置されており、停車ボタンには点字による表示があります。
バスシェルターでは、次のバスまでの待ち時間を表示するディスプレイがあります。
www.smtuc.pt

特別輸送サービス
SMTUCではアクセシビリティ対応のミニバスを使用した特別輸送サービスを提供しています。
どなたでもご利用可能ですが、事前予約が必要です。料金は通常の輸送サービスの料金と同等となっています。

パントフィナ[Pantufinhas](電動)バス
SMTUCには歩行者エリアを循環するアクセシビリティ対応バスがあります。
バスには特別な支援が必要な人のための乗降用の坂が備え付けてあり、ゆとりのある車内、体の不自由な人のための専用席、警報音や警報ライトが設置されており、停車ボタンには点字による表示があります。
このバスは停留所がなく、乗客が降車の意思を知らせたときに止まる仕組みとなっています。

マーケットリフト(エレベーター)
街の中心部と大学(高い位置にある)を行き来するには、急勾配の坂のある道を通らなけらばならないため、マーケットリフトが最適

の選択です。マーケット リフトはアベニダ・サ・ダ・バンデイラ[Avenida Sá da Bandeira] とパドレ・アントニオ・ビエラ通り[Rua Padre António Vieira] を結んでいます。
リフトもアクセシビリティに完全対応しており、乗り口や、ルート中の停止場所にも段差がありません。乗降動作も乗車中も簡単で快適に過ごすことができます。
http://www.smtuc.pt/servicos/indexelevador.php

鉄道
コインブラ駅の右側の建物には、手すり付きのスロープのある入口があります。チケット販売カウンターは低い位置に設置されており、体の不自由な人が利用できるように設計されています。駅構内は広くゆとりのある作りとなっています。自動チケット販売機は横向きでも利用が可能となっています。
駅にはアクセシビリティ対応トイレが設置されていますが、入口に段差があるため利用しずらくなっています。
ポルトガル鉄道、CP-Comboios de Portugalは一元的な統合移動サービス(SIM - Serviço Integrado de Mobilidade)を提供しています。情報やサービスについては、年中無休でつながる電話(+351) 707 210 746 (707 210 SIM)でお問い合わせください。 このサービスをお使いになることで、特別な配慮を必要とする乗客は、何よりも、列車や鉄道駅へのアクセシビリティ、乗車の際、旅行中、および下車の際の援助に関する情報を得ることができます。
詳細については、www.cp.pt をご覧ください